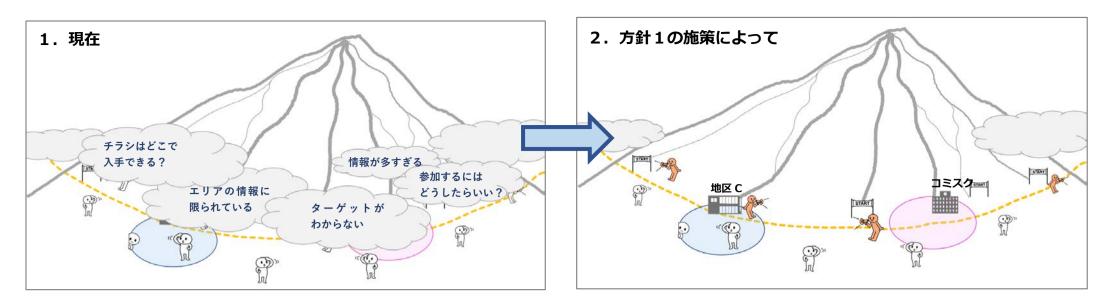
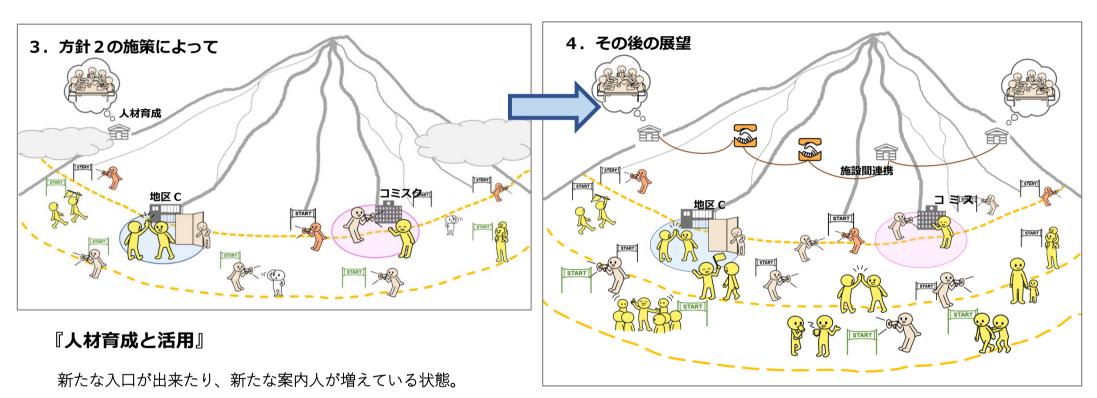
## 【方針案のイメージ図】



身近なところには様々な入口(社会参加に関わる情報)があり、 案内人(コーディネーター)もいて、活動が行われているが、 すそ野は雲で覆われていて、ハッキリとは見えない状態。 (情報共有が図られていない状態。)

## 『社会参加のすそ野の見える化』

雲が晴れて、裾野がハッキリと見える状態。



雲がなくなり、人材育成が進み、より一層すそ野が拡大する状態。

## 各人物の説明や期待すること等

①立場	サービスの受け手		サービスの提供者		
②想定される人	主に中高生・現役世代・企業		社会教育主事補、社会 教育指導員、支援セン ター職員、地域ケアプ ラザのコーディネー ターなど	社会教育士・はまっこグラマー	社会教育主事補、社会教育指導員、 支援センター職員、地域ケアプラザ のコーディネーター・社会教育士・ はまっこグラマー
③どのような人か	まだ社会参加していない人	新たに社会参加する人	すでに施設・団体等で 社会参加を呼び掛けて いる人	新たに社会参加を呼び掛け る人	・すでに施設・団体等で社会参加を 呼び掛けている人 ・新たに社会参加を呼び掛ける人
④横浜市として 期待すること	社会参加してほしい	増やしたい	スキルアップしてほし い	増やしたい	交流・連携してほしい
⑤社会参加することにより期待できること	地域に居場所ができる、孤立を防げる、災害時の自 助共助力アップ		コーディネーターとし ての能力やりがいの向 上	社会貢献できる、やりがい につながる	能力向上、つながりができる

[朴 4